

# 大気汚染常時監視測定局数の適正化について

苫小牧市 環境衛生部ゼロカーボン推進室環境保全担当

市内の大気環境・社会情勢の変化を踏まえて

大気汚染常時監視測定局の  
縮減 及び 再配置 を検討



より効果的・効率的な監視体制の構築を目指します

## 現状 見直しを後押しする3つの背景

### ① 良好な大気環境

二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）・二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）・浮遊粒子状物質（SPM）・微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）で環境基準の達成及び減少傾向である。

### ② 発生源を取り巻く環境の変化

ばい煙施設の性能向上／ゼロカーボンの推進／事業所の縮小・増設等による発生源の変化

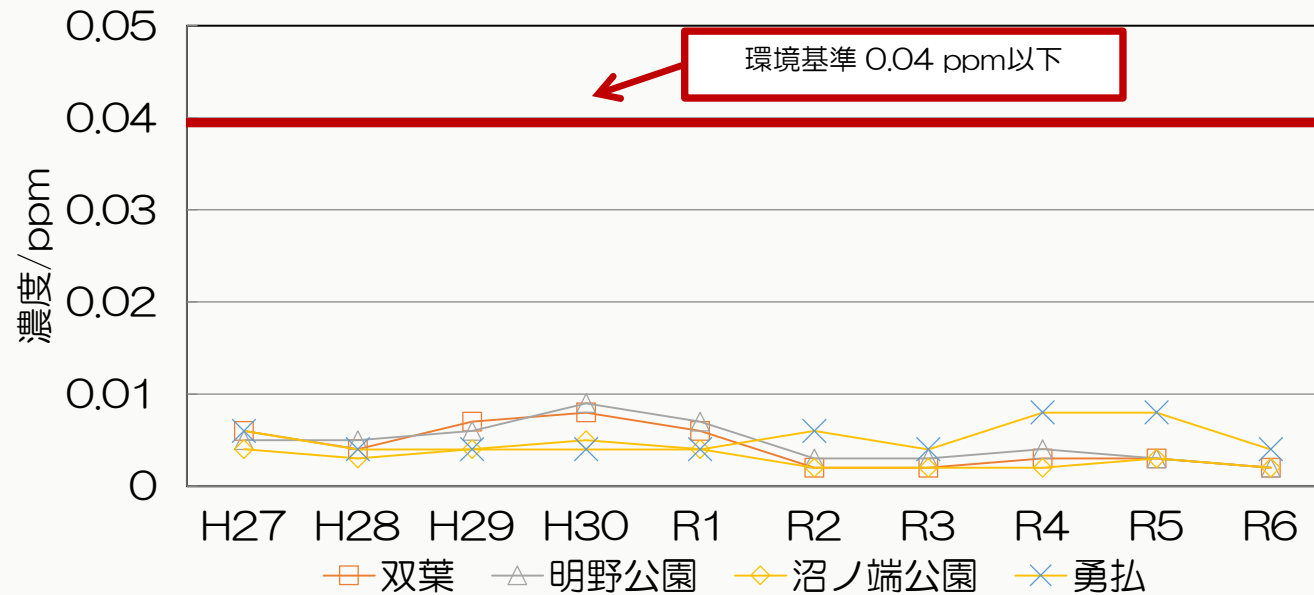
### ③ 国の動向

環境省の基準において、全国的視点からは3局、苫小牧市の地形的特性を考慮しても4局が適正であると判断できる。  
環境省で設置局舎数の考え方に関する協議が進行中であり、全国的に監視体制の最適化が進展している。

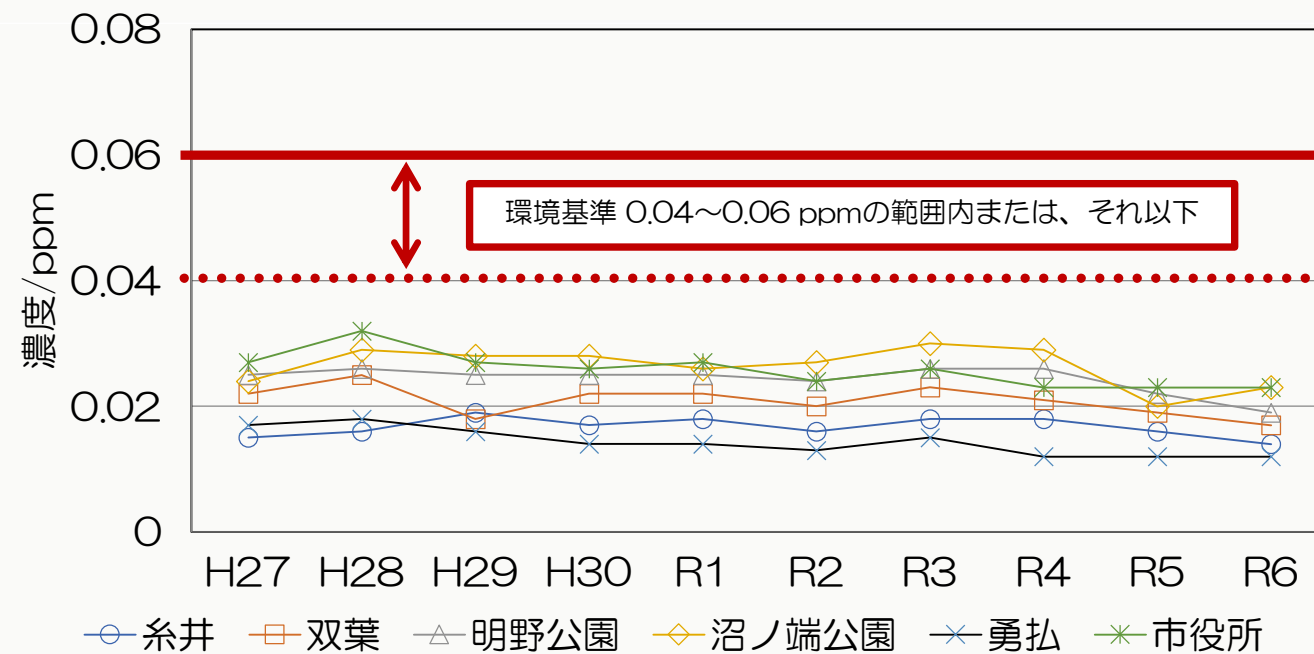
→ 苫小牧市の監視体制を最適化する

# 過去の測定データ

## 二酸化硫黄

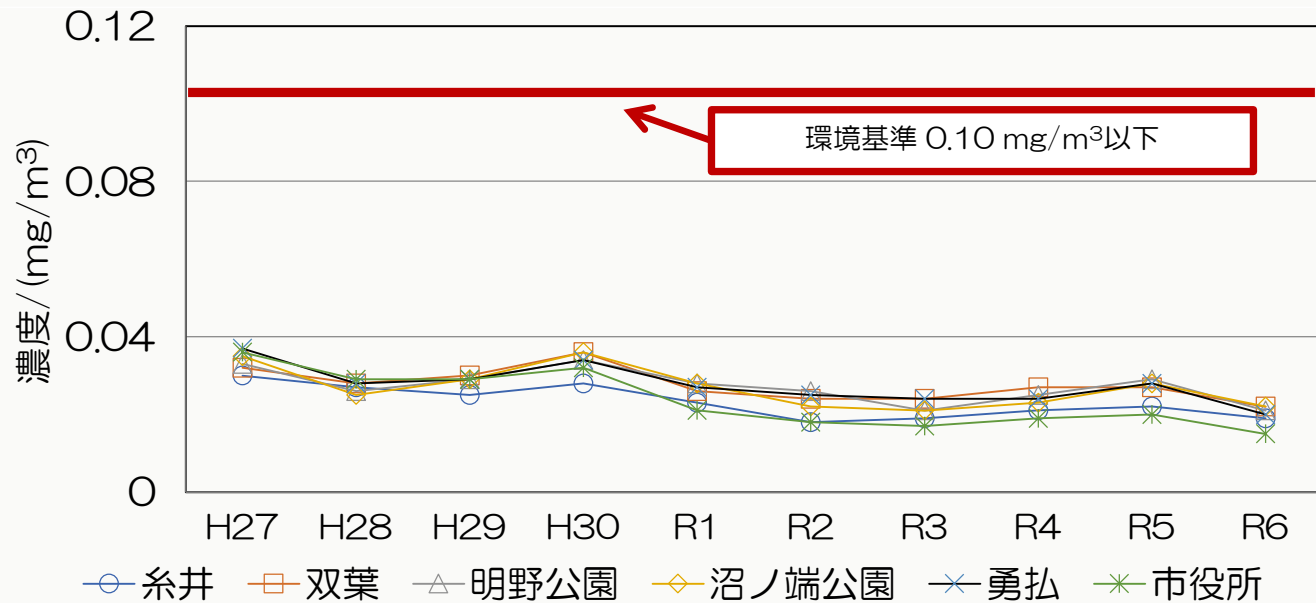


## 二酸化窒素

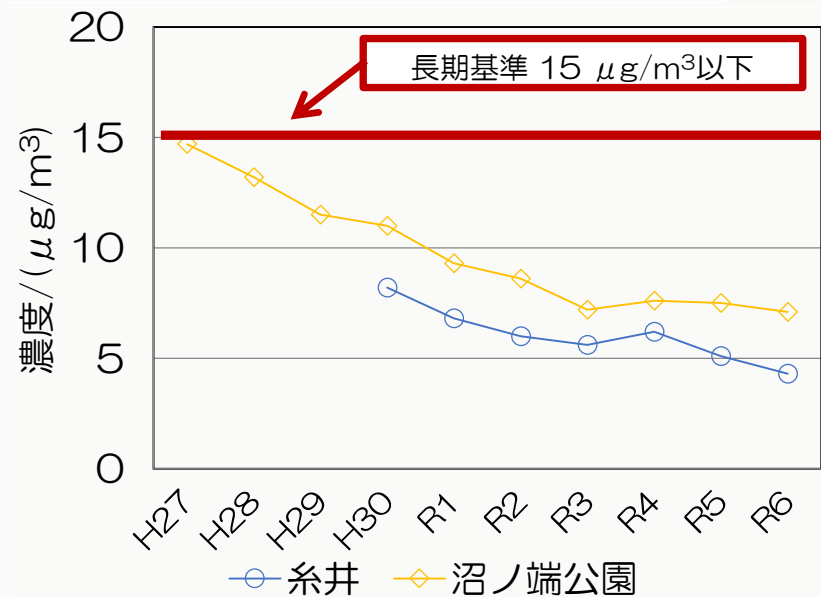
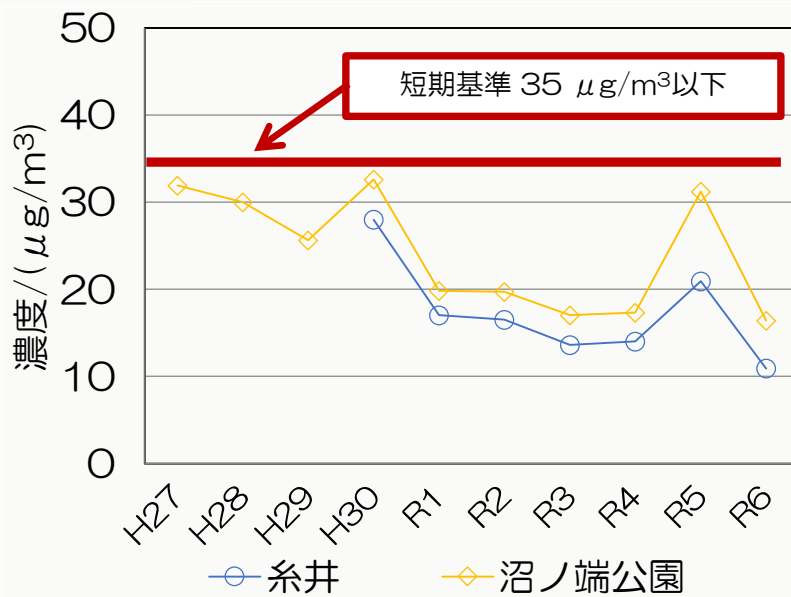


# 過去の測定データ

## 浮遊粒子状物質



## PM2.5



# 見直しの方向性

現行  
6局

令和9年度より



4局 + 再配置の検討

	分類	測定ターゲット	課題
勇払	一般環境	工場	日本製紙の事業縮小、局舎が老朽化している
沼ノ端公園	一般環境	工場	住宅地に近すぎる
明野公園	一般環境	工場	特段問題なし
双葉	一般環境	工場	市役所局との距離が近い。局舎が老朽化している。
市役所	自動車排ガス	幹線道路	双葉局と距離が近い。局舎内が手狭である。測定項目数が少ない。
糸井	自動車排ガス	幹線道路	特段問題なし

勇払・市役所局を廃止、沼ノ端・双葉局を移設

# 局舎の位置関係図



：局舎移転候補地（沼ノ端局舎は北栄公園付近が濃厚、双葉局は検討中）

# 今後の流れ

**STEP 1 本審議会へ廃止及び再配置の提案**

**STEP 2 予算措置等の事務手続き**

**STEP 3 北海道・環境省への報告**

**STEP 4 令和9年4月1日より2局舎廃止・再配置**

※再配置は予算措置可能な年度に実施する